

二胡&楊琴 鳴尾牧子、山本敦子

中国の伝統的な擦弦楽器“二胡(にこ)”と、同じく中国の打弦楽器“楊琴(ようきん)”のデュオ
中国音楽は勿論、耳馴染みのある洋楽やクラシック、日本の曲も表現豊かに奏でます

■ 鳴尾牧子(二胡) ■



95年北京に留学、中央音楽学院で二胡を学ぶ。
聶靖宇、王永徳等著名な教育家に師事。96年帰国後、演奏活動を開始。
日本二胡界の草分けとして、伝統を踏まえつつ独自の感性で演奏を展開。
06年第1回中国音楽国際コンクールから22年敦煌杯まで国内外の
コンクールで優勝。演奏活動の傍ら、後進の指導にも当たる。
二胡を中心とするオーケストラ「鳴尾弦楽団」主宰。
胡琴重奏グループXeno Quartet+、KIKKA Ensembleのリーダー。
また音楽クリエイターとして放送BGM等に楽曲を提供。
伝統楽器でありながら現在進行形で発展を続ける現代の二胡を発信、
新時代を拓く実験的な試みを行なっている。

■ 山本敦子(揚琴) ■



大阪音楽大学打楽器専攻卒業、同大学専攻科修了。
中国揚琴を沈兵氏・項祖華氏（中国音楽学院教授）に、モンゴル揚琴を
チルハスレン氏（モンゴル国立音楽院教授）に師事。
打楽器で松方ホール音楽賞（第5回）、国際音楽コンクール万里の長城杯
打楽器部門第1位、揚琴独奏で大阪国際音楽コンクール民俗楽器部門第2
位受賞。2018年モンゴル国文化功労章受章。
国内外で民族音楽・クラシック・ポップスなど幅広く活動し、編曲作品
は200曲以上。CD「山本敦子揚琴ソロアルバム～flower～」をリリース。
大阪音楽大学付属音楽院、シルクロード音楽教室講師として後進の指導
にも力を注ぐ。